

知的障害特別支援学校 子ども主体の授業づくり ガイドブック

佐藤慎二 著
*
A5判・140頁・2,090円(税込)
*
東洋館出版社

新しい学習指導要領では、学びの連続性を重視し各教科編の内容の拡充が図られた。それに伴い各教科の指導の充実に向け取り組んでいる特別支援学校が多く見られるようになった。

しかし著者は「教科等を合わせた指導」こそが、特別支援教育の醍醐味であり、スタンダードであると語る。

そこには、著者の親として教師としての経験と強い思いが込められている。

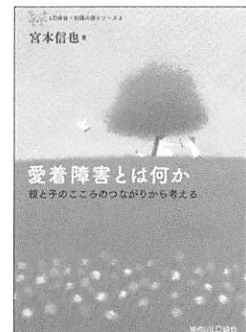
本書は「子ども達の自立と社会参加や支援について」「特別支援教育の特色・観点」「実践例をもとにした授業つ

くり」の三つの内容で構成されている。

子どもの本音に寄り添い、生活や社会のリアルさを追求し、子ども達の意欲・真剣さを引き出すことができる授業をつくるために、「生活化」「単元化」「個別化」というキーワードを徹底的に検討し授業を深めていく手法はとても参考になる。

本書は特別支援教育において「生活」に即した授業をするための視点を学ぶことができる一冊である。

(東京都立青山特別支援学校
中学部教諭 飯干 真)



愛着障害とは何か 親と子のこころの つながりから考える

宮本信也 著
*
四六判・110頁・1,320円(税込)
*
エンパワメント研究所

年齢を問わずこころの臨床で注目されている愛着とその障害について、主に学校教育関係者向けにまとめたもので、誰でも手軽に読める書である。本書の執筆動機は、学校教育関係者の中で発達障害については、その障害特性を中心に理解が広まってきたが、愛着についてはいまだ理解が乏しい現状にあったからだという。本書の特徴は、虐待(不適切な養育)を、教育現場の不適切な教育対応にも広げて解説していることにある。「子供のよいところもわ

いところも丸ごと受け止めてもらえる体験」が可能な教育環境を切に願う著者の思いからである。最新の医学知識を柱に、丁寧に具体例も取り上げながら噛み砕いた解説がなされている。今や子どもの臨床に関わる人たちが共通して抱いている最大の関心事は、「発達」の「障害」と「愛着」の「障害」が、ともにどのようにして今のような子どもの姿を生むのか、その発達問題を理解するための共通の視点である。最新の医学知識はそれを与えてくれない。教育現場の人たちが切実に求めているのは医学と同じ目線の知識獲得ではないからである。読後に評者が抱いた感想と著者への期待である。

る。本書は特別支援教育において「生活」に即した授業をするための視点を学ぶことができる一冊である。

(感性教育臨床研究所
代表 小林 隆晃)

【1 障害者の生涯学習施策の方向性】

文部科学省では、「生涯学習の機会の確保」が謳われた「障害者の権利に関する条約」の批准等を踏まえて、平成29年度に設置された「障害者学習支援推進室」のもと、障害者の生涯を通じた多様な学習活動を総合的に支援する施策を推進しています。

平成30年2月、今後の障害者の生涯学習の推進方策を検討するため設置された「学校卒業後における障害者の学びの推進に関する有識者会議」（座長 全国特別支援教育推進連

2点を挙げています。また、「本人の学ぼうとする意思を出発点に、本人が学びたいことや課題を自ら発見して取り組む学習とすることが重要」と指摘しています。

【2 障害のある児童生徒の生涯学習への意欲向上に向けて】

このように、地域社会における障害者の生涯学習機会を充実させていくと同時に、障害者本人が生涯学び続けようとする意欲を高めていく取組が求められています。特に、学校教育段階における取組への期待として、平成

情報 解説

リーフレット【わかりやすい版】だれでもいつでも学べる社会へ

文部科学省障害者学習支援推進室

盟理事長 宮崎英憲）は、平成31年3月に最終報告として「障害者の生涯学習の推進方策について（報告）—誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会を目指して—」（以下、有識者会議報告）をまとめています。

この有識者会議報告では、目指す施策の方向性として、「誰もが、障害の有無にかかわらず学び続けることのできる社会であること」、「障害者が、健康で生きがいのある生活を追求することができ、自らの個性や得意分野を生かして参加できる社会であること」の

29年に改訂された特別支援学校小学部・中学部学習指導要領及び平成31年に改訂された特別支援学校高等部学習指導要領では、「児童又は生徒が、学校教育を通じて身に付けた知識及び技能を活用し、もてる能力を最大限伸ばすことができるよう、生涯学習への意欲を高めるとともに、社会教育その他様々な学習機会に関する情報の提供に努めること」が明記されました。障害のある児童生徒が自己実現を図るための生涯にわたる学習活動全般を楽しむことができるよう、在学中から地域における社会教育施設等の活動に参加し、楽し